

## 環境配慮商品を売り場で探す [環境学習]

環境配慮商品を販売に繋げるためには、お客様に知ってもらい購入していただかなければなりません。そこでユニーでは、環境学習のプログラムに組み込んで、どこが環境にやさしいのか、何が環境負荷低減になるのかを伝えています。また、子ども達の夏休みの自由研究にしてもらうために、「夏休み自由研究応援隊」としてecolonの商品や説明パネルを店舗に展示しています。



店長がお店探検でecolonを説明



夏休み自由研究応援隊の展示



なごや環境大学の講座で環境配慮商品を説明



消費者がお気に入りecolonをプレゼン

## eco!on商品の開発

環境配慮商品は特殊なものではなく、日常で使っていただく商品を、原料や容器包装を見直して使用時のエネルギー使用削減など従来品より環境負荷を少なくしました。手に取りやすいこともお客様が購入するきっかけになると推測しています。

「環境に配慮した」ということだけでは、お客様はなかなか商品を選択して下さりません。商品として魅力があり、さらに環境に配慮されているということ、そしてリーズナブルでなければ、購入には繋がらないのです。しかし、購入頻度の高い商品が環境配慮商品であれば、環境負荷低減に大きな効果が望めます。こうした観点から、商品開発担当はecolonを開発しているのです。

### eco!on商品の開発

持続可能な社会の実現のため、「ecolon」を通じ、「ユニーの環境の考え方」「環境への取り組み」をお客様に伝えたいと思います。多くのお客様に認知いただけるよう、以下の事を配慮しながら商品開発を行っています。「お求めやすい価格」「使った結果がエコ」「売れるecolon」を考慮し開発をしています。

ユニーの企業価値を上げるようなブランドに育成したいと考えています。



グループ商品企画部  
部長 菅野 誠一

### 環境配慮型カレンダーの開発



日常での必需品でなおかつ売れるecolonのコンセプトから環境配慮型のStyleONEカレンダーを開発しました。環境配慮のポイントとして原料の紙は森林認証紙、印刷には植物性インク(大豆)を使用しています。またアイテムは少ないですが、今後はさらに拡大したいと考えています。また新しい試みとして、カラーユニバーサルデザインを採用した商品もあります。これは全ての人に価値あるものという定義のもと、できるだけ多くの人が見分けやすい配色に考慮し、色を見分けにくい人にも情報が伝わるという考え方のもと、環境配慮だけではなく価値のある機能もプラスされた商品です。



グループ商品企画部  
チーフバイヤー  
佐藤 雄一

### 「eco!on」の商品

特別なものではなく、日常生活に欠かせない商品を環境に配慮したものにすることで、地球環境保全に貢献していることとなります。「eco!on」は、たくさんのお客様と一緒に低炭素社会・持続可能社会を築いていくことを目指しています。



●スリッパ  
中敷きにペットボトルをリサイクルした繊維を一部使用



●マグボトル  
何度も繰り返し使用できるのでゴミを出さない



●エコ野菜  
食品リサイクルで作られた堆肥で栽培した野菜



●のし袋  
FSC認証された紙を使用



●学習帳  
FSC認証された紙を使用



●食品用ラップつめかえ用  
包装資材を約90%削減



●アローザトイレペーパー  
リサイクルボックスで回収した牛乳パックが原料の再生製品



●ふんわりエコロール  
アローザをよりお値打ちにした商品を開発



●箱なしティッシュ  
包装資材を約90%削減



●液体洗剤・柔軟剤  
容器をサステナブル素材のバイオマスプラスチック製にしてCO2を削減